令和元年度東北バレーボール協会第２回理事会が、９月１４日（土）１６：００～岩手県一関市ホテルサンルートで開催されました。本県から齋藤和敏県協会常務理事が出席しました。田村正男会長挨拶のあと、協議に入りました。

協議1　令和元年度東北バレーボール協会表彰について

　・全国ママさんバレーで優勝した「レディース高砂」も東北協会表彰とする。

* 東北協会表彰は、従来ＪＶＡ関連大会のみとしていたが、ママさんも表彰の対象とすることについて、次年度以降の申し送りとする。

協議２　令和2年度東北バレーボール協会行事予定について

　・令和2年度からビーチバレーボールの国体予選がなくなることから、東北ビーチバレーボール選手権大会の新規開催について、山形県・櫻田理事長と調整を進めていく。

　・研修のうち、Ａ級及び９人制は、東北協会で経費を対応していく

　・次回の理事会までに、日程を千葉理事長に報告すること。

協議３　令和２年度以降の東北バレーボール協会友好団体理事長・専門委員長懇談会について

　・来年度以降中止とする。

協議４　令和元年度東北バレーボール役員会について

　・１２月７日(土)１５：００～

　・ホテルサンキョウ（福島県庁近く）

協議５　その他

　・ＪＶＡ大会運営部加盟団体連携部の中野淳子さんからＪＶＡ加盟団体からの要望聞き取りがあった。

　　齋藤からは、ＭＲＳの運用について、県協会役員の会費徴収など、登録をしないと活動できない方以外の利用について、簡便な方法を検討してほしいと要望した。

　・「東北バレーボールリーグ」の設立について、岡崎建設Owlsの岡崎監督から趣旨説明があった。

　・種別：男子6人制

　・参加チーム：各県代表による6チーム

　　　　　　　　ただし、個別チームに限定せず選抜等のかたちをとる

　・形式：５セットマッチ　全チーム２回総当たりリーグ戦　全３０試合

　・賞金：１章ごとに１０万円　優勝チームには１００万円　総額４００万円

　・開催期間：１月～３月のうち５週（令和３年１月～３月に大会開催）